

## 図書館職員の研修の充実方策について 概要

### 現 状

- ・専任職員の減少と業務量の増大
- ・研修の実施に関する情報の不足
- ・研修が体系化されていない
- ・研修参加のモデルがない 等

### 職員に求められる資質・能力

- ・資格取得時に身につけた基礎的な知識・技術をさらに深め向上させることが必要
- ・利用者ニーズの把握、資料の選択・収集・管理能力なども重要

これらを踏まえ、研修の形態や方法、評価等について見直しが必要

### 研修の課題と改善方策等

#### <対象と領域について>

- 初任者を対象とした研修
  - －参加者に応じて、内容や研修方法等に工夫が必要
- 経験年数に応じた研修
  - －最新の知識・技術、役職等に応じて必要となる知識・技術を加えることが必要
- 管理職を対象とする研修
  - －直面している経営上の課題についての研修をさらに充実することが必要
- 図書館サービス向上のための研修
  - －地域の特色や図書館の役割に応じた研修、短時間で即戦力となる研修のカリキュラム開発が必要
- 特定分野の専門性を高めるための研修
  - －社会の変化等に応じた新たな課題等に対応する研修を重点的に行うことが必要 等

#### <形態や方法等について>

- インターネット等を活用した遠隔教育、集合学習と組み合わせた研修の導入
- 大学、大学院の授業や公開講座等の活用
- 他の図書館での実務研修の実施
- 研修の一環として、研究の奨励や研究発表の場を確保 等

#### <評価の実施について>

- 研修に対する評価
  - －研修後、知識や技術を職場でどのように活かしたかを把握することが必要
- 研修参加者に対する評価
  - －研修成果を日常業務にどう活かすかについてのレポート作成を課し評価する
  - －研修歴を記録し証明する仕組みをつくる 等

#### <参加できる環境整備について>

- 設置者や管理職に対する、職員の能力育成の必要性についての理解の促進
- 研修や、研修参加を支援する仕組みについての情報収集・提供 等

#### <研修内容の周知・普及について>

- 研修参加者による職場での研修内容の周知・普及
- 研修主催者による研修内容の周知・普及 等

#### <体系化について>

- 実施主体が相互に役割分担するとともに、様々な研修の情報を収集し、体系的に整理し提供する 等

研修の充実、研修への参加促進

図書館サービスの充実